

平成 18 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 富士電機ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 伊藤 晴夫
(コード番号 6504 東証・大証・名証第 1 部・福証)
問合せ先 財務部長 松本 淳一
(TEL . 03 - 5435 - 7232)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 4 月 27 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の中間期連結業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間期連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	393,000	3,500	3,500	0
今回修正予想 (B)	400,000	4,500	4,500	1,000
増 減 額 (B - A)	7,000	1,000	1,000	1,000
増 減 率 (%)	1.8%	28.6%	28.6%	-
(参考) 前年同期実績 (平成 18 年 3 月期中間期)	369,328	3,331	3,719	744

2. 平成 19 年 3 月期中間期連結業績予想修正の理由

第 1 四半期の連結業績を踏まえ、平成 18 年 4 月 27 日に発表した今中間期の連結業績予想を上記の通り修正することと致しました。

売上高は、「電機システム」、「機器・制御」、「電子デバイス」の各部門で当初計画を上回る見通しですが、リテイルシステム部門は自販機業界全体の需要の減少などにより当初計画を大幅に下回り、全体としては当初計画を上回る見通しです。

営業利益、経常利益および中間純利益は、機器・制御部門を中心に素材価格高騰の影響やリテイルシステム部門の売上高の減少といったマイナス要因があるものの、「電機システム」、「機器・制御」、「電子デバイス」の各部門の売上高の増加、採算性重視の取り組みならびにコストダウンにより、当初計画を上回る見通しです。

3.平成19年3月期中間期連結部門別売上高・営業利益予想

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	当初計画	今回予想	増減	当初計画	今回予想	増減
電機システム	1,400	1,470	+70	90	85	+5
機器・制御	890	920	+30	35	40	+5
電子デバイス	910	940	+30	75	85	+10
リテイルシステム	800	750	50	15	10	5
その他	255	255	0	5	5	0
消去又は全社	325	335	10	5	10	5
合計	3,930	4,000	+70	35	45	+10

【注記事項】

上記の業績予想は、市場における当社グループ製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

以上